

2024年度JKA補助事業 公設[人材育成]について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2026年6月30日(火)

・提出先：m2024hyoka@keirin-autorace.or.jp

《JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

- * **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。
- * **水色箇所**が記入箇所、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。
- * 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2024年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2024M - 240	補助事業者名	〇〇県	補助事業名	公設工業試験研究所等における人材育成等
------	-------------	--------	-----	-------	---------------------

◆整理番号、補助事業者名(法人名等)を記入してください。

2024年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

作成日	2026	年	6	月	18	日	作成者	競輪 太郎
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

◆この自己評価書の作成日、作成者を記入してください。

1. 補助事業で実施した事業(公設 人材育成等)についてご記入ください。

事業形態 (複数選択可)	☒ 研修会	☒ 講習会	☐ その他 ⇒
実施回数	5	回	(補足)

◆複数選択可です。あてはまるものすべてにチェックをしてください。

※「その他」を選択した場合は、その詳細を記入してください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2024年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27.28「自己評価スコアリングガイド」をご参照ください。

(2) 事業内容	事業の発展性	これまでに開発・作成した〇〇〇の実習教材をリモートやオンラインでの人材育成に対応させることができれば、そのノウハウや仕組みを各種の〇〇〇デバイスに適用していくことで、人材育成の幅を広げていくことができる。			採点	4	
(3) 達成目標	事業の成果・波及	※自己評価1回目から変化があった場合に記入ください。	達成値	達成状況	具体的内容	採点	5
		セミナー参加者35名	150%		実習を基に、これまでに開催してきたセミナーの平均参加者数が20名程度であったが、再度オンライン併用にて開催をしたところ、35名の参加者を得ることができた。		

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、スコアリングガイドを参照の上、採点してください。
(点数はプルダウンで選択できます)

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。
!! 注意 !! ・【達成値】現時点での「実績値」を記入してください。
・【達成状況】のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

3. 地域の特性と当該事業に関連があれば、その具体的な内容をお教えてください。

地域の特性 ⇒ (どのような特性か)	関西地域、特に〇〇は多数の企業が集積し、業種もさまざまである。また、中小企業も多く、多種多様である。
-----------------------	--

(どのような関連があるか具体的に記入ください)

これまでに開発・作成した〇〇〇の実習プログラムが主体である。中小企業の中には、大企業に対抗できる技術力が必要とされる製品開発を目指している企業も多数あり、そのような企業が新たな製品・技術の開発に力を入れる中、セミナーの開催を実施することは大きな貢献となっている。

◆関連のある地域の特性と具体的な内容を記入してください。

4. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がございましたら教えてください。

〇〇新聞△△版にて、セミナー開催の様子が紹介がされた。

◆当該事業に関して、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。
特になければ「特になし」と記入してください。

5. 今後、当該事業の継続や同様の活動等を行う予定があればお聞かせください。

今回行われた実習プログラムについては、今後更にレベルアップを図ることを目的とし、専門的な技術者を対象とした技術者養成講習会を開催して、技術開発に取り組む予定である。

◆今回の補助事業で行った事業について、今後継続して事業を行う予定があれば、その内容について記入してください。

6. 公設工業試験研究所等及びその事業分野を取巻く状況や課題についてお聞かせください。
また、JKA以外で今回と同様な事業に対し、助成を行っている補助団体についてご存知であれば教えてください。

工業試験関係の分析・測定は、年々高度化しており、必要とされる機器もそれに伴い高価になっている。機器購入に関する予算の確保は課題であり、それを使用する研究員の技術レベル維持も同様に課題となっている。

JKA以外で今回と同様な事業に対し助成を行っている団体は特になし。

◆今回実施した事業の問題や課題等を記入してください。
また、国の施策等による影響などがありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、今回と同様な事業に対し助成を行っている補助団体をご存知であれば、その団体名を記入してください。

7. 上記1～6の補足や、JKAに対するご要望等がございましたら、ご記入ください。

特になし。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。